

- 名 称 第1回 NU-BRAIN シンポジウム
(光脳機能イメージングの研究開発および臨床応用に関するシンポジウム)
- 開 催 期 日 平成22年9月11日(土)
- 会 場 島津製作所 東京支社イベントホール
<http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/tokyo.html>
(〒101-8448 東京都千代田区神田錦町1丁目3)
- 目 的 近赤外線分光法を利用した脳機能計測に関する研究が盛んに行われ、非侵襲な脳機能計測の有力な方法の一つとして普及してきているが、この技術の発展にはより学際的な研究活動が必要である。また、最近では、計測した脳内の神経活動によって機械を操作する Brain-Computer Interface (BCI) 技術が提案され、障害者の支援やリハビリテーションへの応用が可能となる新しい技術として注目を集めている。日本大学では、連携研究組織「BCI 研究会」を設立し、学際的な連携研究を実施してきている。本シンポジウムは、これまでの活動の成果を公表すると同時に、近赤外線分光法を利用した脳機能計測に関心の高い研究者間の情報交換の場と研究協力促進の機会を提供することを目的とする。
- スケジュール 平成22年9月11日(土)
13:00～13:50
開会の挨拶 日本大学 教授 医学部長 片山 容一
(1) 日本大学におけるNIRSを用いた連携研究の取り組み
日本大学生産工学部 教授 綱島 均
(2) 基調講演「NIRSの臨床応用の最前線」
日本大学医学部 教授 酒谷 薫
14:00～15:30
NIRSにおける信号処理とBCIへの応用
(1) 「NIRS信号のゆらぎと解析」(招待講演)
東京都精神医学総合研究所 星 詳子
(2) 「NIRS信号の統計解析：空間的標準化とPOTATO」(招待講演)
自治医大端医療技術開発センター 檀一平太
(3) 「NIRSを用いたBCIとリハビリテーションへの応用」
日本大学生産工学部 学振研究員 柳沢 一機
(4) 「NIRS信号とニューラルネットによる脳活動の識別」
日本大学理工学部 准教授 高橋聖

15:40～17:25

健康科学への応用

- (1)「運動による高次脳機能の変化」(招待講演)
筑波大学人間総合科学 征矢英昭
- (2)「運動による疲労と脳活動」(招待講演)
長崎総合科学大学 澁谷顕一
- (3)「NIRSを用いた運動準備期の脳活動と循環応答」
日本大学生産工学部 助教 岩館雅子
- (4)「臨床薬理へのNIRSの応用」
日本大学医学部 辻井岳雄
- (5)「サプリメントの高次脳機能に対する効果」(招待講演)
資生堂リサーチセンター 谷田正弘

参加申込の有無

ご参加をご希望の方は以下の内容をメールにて送信してください。

※申し込みメールご送付先

第1回 NU-Brain 実行委員会事務局

井上正雄 (masao@shimadzu.co.jp)

第1回 NU-Brain シンポジウムに参加を希望します。

1. ご氏名

2. ご所属

3. 連絡先

・TEL: :

・Email :

4. 懇親会 (参加/不参加)

問 合 せ 先 生産工学部機械工学科 綱島 均

※問合せ先連絡先 tsunashima.hitoshi@nihon-u.ac.jp,

TEL: 047-474-2339 FAX: 047-474-2349

以 上